

令和6年度 社会福祉法人 省我会 法人本部 事業計画

(1) 定時評議員会の開催

日時：6月 場所：新宿せいが子ども園

(議案) 令和5年度計算書類及び財産目録の承認、他

(2) 理事会の開催

5月 令和5年度事業報告及び決算報告の承認 監事監査報告承認 他

理事長による職務執行報告

6月 令和6年度補正予算案の承認、規則・規程の改廃 他

理事長による職務執行報告

1月 令和6年度補正予算案の承認、規則・規程の改廃 他

理事長による職務執行報告

3月 令和6年度最終補正予算案 令和7年度事業計画及び当所予算案の承認 他

理事長による職務執行報告

場所 新宿せいが子ども園

(3) 令和5年度事業報告及び決算報告の監事監査会の開催

日時：5月 場所：新宿せいが子ども園 出席監事2名

(4) 研修への参加

東京都及び東京都社会福祉協議会・東京都民間保育園協会等主催法人研修

(5) 海外施設視察研修補助事業

海外乳幼児教育施設研修参加補助 施設職員 若干名

(6) 東京都保育士等キャリアアップ研修の実施

7月30~31日 乳児保育 定員50名 東京富士大学メディアホール

8月 6~7日 幼児教育 定員50名 東京富士大学メディアホール

1月~2月 乳児保育・幼児教育 各定員50名 場所未定

社会福祉法人省我会 省我保育園 令和6年度 事業計画

(園児数) 定員 100名

4月1日現在

新入園児は0歳児 11名 1歳児 6名

0歳児 11名 1歳児 17名 2歳児 17名 3歳児 18名 4歳児 18名 5歳児 14名

合計 95名 4月以降3歳児と5歳児を募集していく

(職員体制)

園長 1名 副園長 1名 保育士 19名 (内 派遣 6名) 保育補助 3名

看護師 (派遣) 1名 栄養士 3名 調理員 1名 臨床心理士 1名

嘱託事務会計 2名 事務員 1名 パート 3名 合計 36名

(修繕等他) 修繕の予定なし

(福祉サービス第三者評価) 受審予定

(内科嘱託医の交代) 内科山下まり先生から小児科医杉井京子先生

(園務担当)

○会計責任者 牛山 篤子 (園長)

○契約担当者 牛山 篤子 (園長)

○出納職員 長谷川 信人 (主任) 西川 美穂 (主任) 牛山 実菜子 (副園長)

(苦情解決第三者委員の委嘱)

23年度の継続 谷口 葉子 佐々木 律子

(規程の改廃) 就業規則の整備

(指導検査結果報告)

2024年2月27日 (火曜日) 午後2時~4時 実施

施設・給食施設共に指摘事項なし

(利用者の苦情)

第三者委員への苦情はなし

(短期計画)

- ・見守る保育、STEM 保育の継続
- ・地域子育て支援の充実
- ・地域、関係機関との連携
- ・幼保連携型こども園になるための情報収集と職員の整備
- ・正規職員と有期雇用職員の連携

(中期計画)

- ・職員の安定と職務内容の明確化
- ・研修の充実
- ・職員の働き方改革…休憩の取り方

## 令和6年度 事業計画

せいがの森こども園

### はじめに

令和6年度は、16名の新入園児を迎え(0歳児3名、1歳児8名、3歳児4(うち1号認定3)名、4歳児1名)、在籍児童97名でスタートする。0歳児の入園が定員9に対して3名と少ないため、0歳児の充足と他クラスの欠員補充が課題となる。

また今年度は運営費の面で八王子市の制度が大きく変わり、市の配置基準の見直しと同時に、園児数と職員数との連動で保育士、保育補助の充実配置が加算される制度となる。職員の充実配置に対して補助が受けられる一方で0歳児の欠員分に対する補助など従来の補助が削減されるため、運営費面での工夫が必要となる。

年度のスタート時点では、園児数に対する保育士、保育補助の充実配置を生かせる状況にあるので、今後は園児の充足と歩調を合わせ、職員の拡充と効率的な配置を考え、保育体制の充実とともに運営面の安定を図っていく。

### 【事業の重点計画】Ⅰ：園の運営

#### Ⅰ-① 園児の状況

令和6年度の新入園児は、0歳児：定員9に対して3名、1歳児：定員18に対して17名、2歳児：定員18に対して17名、3歳児：定員20に対して19名、4歳児：定員20に対して20名、5歳児：定員21に対して20名となり、96名でのスタートとなった(うち1号認定児童は5名)。欠員クラスの年度途中での充足が課題となる。

#### Ⅰ-② 職員体制

令和6年度は、新入正規職員1名、非常勤職員1名、千代田せいが保育園からの異動正規職員1名を加え、新宿せいが子ども園からの異動で副園長を配置しスタートする。職員チームの課題としては、まず互いの人権・人格を尊重した人間関係の構築と、実際に仕事をしながらのチームワークの醸成が挙げられる。クラスリーダーは配置せず、クラスミーティングの中で各自が意見を出し合い、課題を見つけ問題を解決できるチームづくりを目指す。

一方で、制度面では八王子市の制度が変更になり、保育士、保育補助の充実配置加算や体制強化、保育補助雇上補助など、職員配置の充実に対して子どもの人数と連動して補助ができる形になった。年度当初としては、在籍園児数に対して職員が充実している状況にあるが、今後、年度途中の入園により定員充足することを考えると、園児増のメリットを生かすためには、今後、園児増に備えて職員数適切に職員補充をしていく必要がある。今後も、必要な職員配置に向けた採用活動を継続していく。

令和6年度4月1日の体制は、常勤22名(うち保育士19名)、非常勤13名。

#### Ⅰ-③ 園の施設整備

施設老朽化による整備については、不要な電気系統の整理、修理不能な遊具の撤去、安全確保のための階段柵補修などが喫緊の課題である。

また保育環境の改善という意味では、0・1歳児室の保育スペースの改善が第一の課題である。現状のちっち(0歳)、ぐんぐん(1歳)の間に共通に使える動的スペースをつくり、静／動の活動の切り分けによる子どもの遊びのメリハリ、活動スペースの拡大による朝夕の保育の安全確保など、環境改善を保育の質の向上につなげていく。また園庭は、遊具を撤去し何も無い状態であることから、運動遊具にこだわらず、子どもの活動を広げるという視点から、さまざまな遊びの要素を持つ多様性のある園庭へ、環境改善をすすめていく。

\*令和6年度の環境改善にあたっては、必要な改善(修理)のために令和5年度に施設整備積立を行っている。運営状況をみながら積立金をあてていく。

#### 令和6年度施設整備の主な計画

○ちっち・ぐんぐん保育室の動のスペースづくり(保育室フロアマット、パーティション、玩具棚の導入とレイアウト変更)	概算予算 600,000円
○エアコン・換気扇の清掃・補修	概算予算 300,000円
○不要電気設備の整理	概算予算 80,000円
○保育室床補修	概算予算 120,000円
○階段・渡り廊下ポリカーボネート張替(老朽化のため)	概算予算 1,500,000円
計	2,600,000円

\*基本的には昨年度からの施設整備積立 10,000,000円をあて必要な整備を行う。

#### 1-④ 運営体制

常勤22名(うち保育士19名)、非常勤13名(うち保育士7名)。

市の基準を満たす正規職員数は確保しているが、加配児や朝夕の対応等は、無資格の非常勤職員で補っており、効率的な運営のためには、有資格・長時間勤務できる正規職員の補強が課題である。離職者を出さない職場風土づくりに努め、採用活動を継続していく。

#### 1-⑤ 運営に対する課題

- 職員の定着と確保
  - ・在籍職員の定着と有資格の新規職員の早期確保
  - ・在籍職員の意欲・スキルの向上
  - ・効率的な勤務と休日増のための勤務シフトの改善
  - ・求人効果と長期的な人件費安定のための新しい給与体系の研究
- 経営の安定
  - ・定員に対する不足児童の獲得
  - ・児童数に応じた職員配置による運営費・補助金の確保
  - ・処遇改善手当の効果的な活用による給与原資の増加抑制

## 【事業の重点計画】2：保育内容

### 2-① 見守る保育の再構築5か年計画(3年目)

見守る保育の再構築5か年計画の3年目にあたり、本来ならば2年間の取り組み(STEP①)による基礎を踏まえて発展的な段階(STEP②)に進むべき年であるが、未だに基礎ができていない部分も多い。そのため今年度は、5か年計画の全体像をしっかりとふまえつつ、子ども自身の自立と自律を促すことを第一に重視し、子ども自らが園生活を創り上げていく力を育むため、以下の3点を園の重点目標と定め、目標設定と振り返りをしながら全園をあげて取り組んでいく。5か年計画と今年度の重点目標については以下の通り。

#### 見守る保育の再構築

##### 見守る保育の環境づくり

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ○子どもの経験を豊かにする | ○子どもの意思を尊重する |
| ・豊かな遊び環境      | ・人権を尊重した言葉かけ |
| ・園庭の活用        | ・選択の機会       |
| ・園外保育(散歩)     | ・意思表示と話し合い   |
| ・社会性の育成       | ・子どもの声を形にする  |
| ・運動遊び         |              |

##### 見守る保育の学びなおし

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ○子どもの姿をとらえる  | ○チーム保育をすすめる |
| ・子どもを見守る     | ・人間関係       |
| ・子どもを観察する    | ・話し合い       |
| ・子どもの姿を共有する  | ・子どもの見守り    |
| ・子どもの未来を共有する | ・個性の発揮      |
| ・子どもの姿を伝える   | ・原典に学ぶ      |

#### 保育理念の共有徹底

自立・自律・協力・共感を、子どもと大人に共通のキーワードとして意識し、改めて理念を見つめ直し、意識を徹底する。

##### 保育理念「共生と貢献」～かかわりあい みとめあい たすけあい よろこびあう

かかわりあい ～自立～ 自立した個人として他者を尊重し人間関係をつくっていく

みとめあい ～自律～ 自分の心をコントロールしながら、他者を認め理解する

たすけあい ～協力～ よりよい未来に対して力を合わせる

よろこびあう ～共感～ 仲間の喜びを自分の喜びとして感じられる

##### 保育方針「子どもの主体性を育てる保育」

- ① 子どもの主体的な活動としての生活を保障する保育（生活をはぐくむ）

- ② 子どもの自発的な活動としての遊びを保障する保育（自立をはぐくむ）
- ③ 一人ひとりの特性に応じた保育（個性をはぐくむ）
- ④ 人とのかかわりを大切にされた保育（社会性をはぐくむ）

**保育方法「見守る保育」**

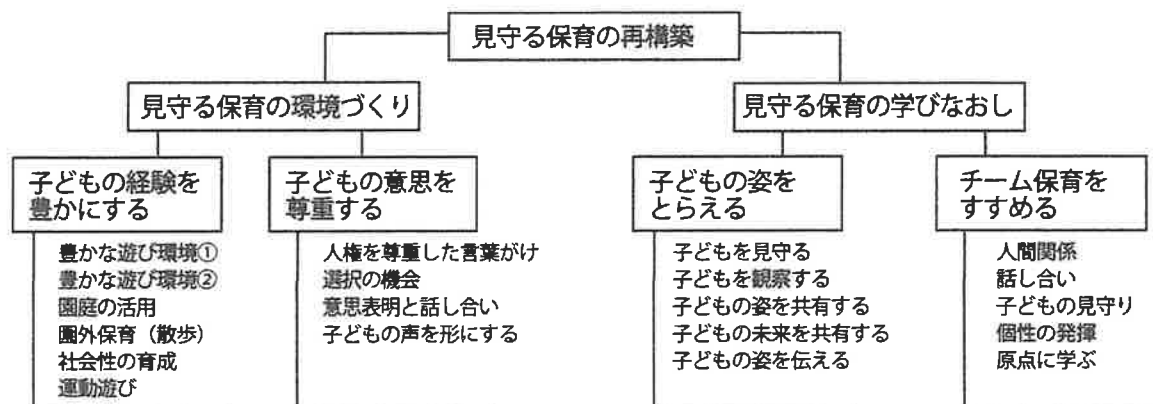
- ① 子ども主体の保育
- ② ねらいに応じた選択性の保育
- ③ かかわりを大切にされた異年齢児保育
- ④ 共感と協働のチーム保育（職員集団）

**保育目標（子どもの姿）「自分らしく意欲的で、思いやりのある子ども」**

- ① 自ら課題をみつけ、自ら考え行動する子ども（主体的に行動する子ども）
- ② やりたいことをやれる子ども（意欲的な子ども）
- ③ 自分を好きになる子ども（自尊感情をもてる子ども）
- ④ 人の喜びを喜べる子ども（思いやりのある子ども）

**保育目標（保育者の姿）「意欲的で思いやりがあり、共感・協力できる保育者」**

- ① 課題ややりたいことをみつけ、自ら考え行動できる保育者（主体的・意欲的に行動する保育者）
- ② 相手を認め、自分とともに大切にできる保育者（公共意識を持ち、他者理解ができる保育者）
- ③ 問題解決・よりよい未来に向けて協力できる保育者（協力・協働する保育者）
- ④ 前向きな気持ちを持ち人に共感できる保育者（共感のある保育チーム）



せいがの森こども園 見守る保育の再構築 5か年計画

		重点項目	STEP①		STEP②		STEP③
見守る保育の 環境づくり	子どもの 経験を豊かにする	豊かな遊び環境①	玩具・教材の充実	⇒	遊びの定着	⇒	遊びの伝承
		豊かな遊び環境②	ゾーニングの工夫	⇒	ゾーニングの見直し	⇒	ゾーンの継続的発展
		園庭の活用	日常的に園庭に出る	⇒	自然・季節を活かした活動	⇒	自分たちで作る園庭
		園外保育（散歩）	日常的に散歩に行く	⇒	行き先を考え、選ぶ	⇒	散歩文化の伝承
		社会性の育成	あいさつをする	⇒	地域・人と関わる	⇒	社会と関わる
	子どもの 意思を尊重する	運動遊び	日常的に体を動かす	⇒	目標にチャレンジする	⇒	協力して取り組む
		人物を尊重した言葉かけ	やさしい言葉かけ	⇒	子どもへの伝播	⇒	民主的なことば文化の共有
		選択の機会	選択の機会をつくる	⇒	適切に選択できる	⇒	選択肢ごと考える
		意思表明と話し合い	話す機会をつくる	⇒	子ども同士での話し合い	⇒	新しい結論を導き出す
		子どもの声を形にする	子どものアイデアを実現する	⇒	アイデアを話し合い発展させる	⇒	アイデアを行事にする
学びなおし 見守る保育の チーム保育の 育をすすめる	子どもの 姿をとらえる	子どもを見守る	温かく応答的に見守る	⇒	適切なファシリテーション	⇒	新しいモデルを示す
		子どもを観察する	子どもを観察する	⇒	予測して観察する	⇒	継続的に観察する
		子どもの姿を共有する	子どもの姿を話し合う	⇒	子どもの姿を記述する	⇒	記述を計画に生かす
		子どもの未来を共有する	ありたい姿を話し合う	⇒	ふさわしい援助・計画	⇒	実践を計画に生かす
	チーム保 育をすす める	子どもの姿を伝える	思いとともに伝える	⇒	ねらいとともに伝える	⇒	子どもとともに伝える
		人間関係	気持に話し合う環境づくり	⇒	他者を知り、自分を知らせる	⇒	違いを認め合う
		話し合い	人の話を聞き、受け止める	⇒	受け止めた上で意見を出す	⇒	解決的思考につなげる
		子どもの見守り	子どもの姿を話し合う	⇒	視点の多様性に気づく	⇒	複眼的な視点を待つ
		個性の発揮	得意なことをやってみる	⇒	得意なことを保育に生かす	⇒	得意なことを子どもに伝える
		原典に学ぶ	見守る保育の本を読む	⇒	読んだことを実践する	⇒	実践を振り返り計画する
実現の目安			令和4・5年度		令和5・7年度		令和8年度

せいがの森こども園 2022/3版定

## 2-② 令和6年度の重点目標

### 重点目標① 散歩（園外活動）

仲間といっしょに活動する喜びを時間しながら、子どもの経験を広げ、歩くことによって健康な身体と心の土台を築き、子どもの自立と自律を育む

### 重点目標② 運動遊び

体を動かすことにより、身体の強化と情緒の安定をはかり、食と睡眠と運動からなる良好な生活リズムの基礎をつくる

### 重点目標③ 子どもの選択と意思表明

0歳児から年長児まで、子どもに考え、選択する機会を保障し、子どもの主体性と考える力を育む

## 2-③ 行事の見直しと園外活動の再活性化

行事の意義を検討し、行事の意義と職員の業務負担の両面から適切な実施方法を考え、行事の在り方を見直していく。また園外活動については、園の重点目標でもあり、各クラスで具体的に計画と検証を繰り返しながら活性化していく。特に小学校との連携については、小学校接続を見据え年間を通じた活動として定着できるよう意識して計画していく。

## 2-④ 地域の子育て支援

子育て支援センターわくわく（子育て広場事業型）を継続。コロナ禍で縮小していた催事を復活し、地域の子育て支援・連携を深め1号児童の入園につなげていく。



## **2-⑤ 地域のとの連携・交流**

昨年度は、コロナ禍で中断していた卒園児のボランティア活動を復活させ、在園児にとって大きな学びとすることができた。今年度も、小学生卒園児を対象に企画し、子どもたちの経験を広げながら異年齢での学びを強めていく。長池公園を管理する NPO フュージョン長池との連携も復活させ、自然探検活動を主に子どもたちの経験を広げていく。

## **2-⑥ 保育の標準化と共有**

保育の中の基本的な手順や安全対策等を「保育安全マニュアル」として定めた。今後は保育の実情に合わせて見直しを行っていく。また保健衛生・感染症対策についても総合的な保健・感染症マニュアルとしてまとめていく。

## **2-⑦ 子どもへのファシリテーション 年長児「アート教室」**

子どもの主体的な環境への関わり、遊び(楽しさ)の発見への促しとして、ふだんの保育環境・生活とは違う時間を設けるという主旨で、年長児すいすい組の「アート教室」を開始する。外部デザイナーの協力を得、子どもに対して「教える」のではなく、子どもの発想や力を「引き出す」関わりを通して、子どもたちの感性をはぐくみながら豊かな遊び経験を創り出していく。また園内の作品展示や環境改善、アートイベントなどさまざまな面での協力を得、園環境を豊かにしていく。

## **【事業の重点計画】 3： 職員育成・研修**

### **3-① 園見学・体験型の研修の促進**

見守る保育の再構築にあたり、手本となる実践園を見学し、自園の保育に活かす。見学研修復活させ、職員知見広め、共有していく。市内の省我保育園や近隣のギビングツリー友好園の見学を順次行う。

### **3-② キャリアアップ研修の受講促進**

令和 5 年度からの段階的な必須化に対応するため、法人主催の研修も活用しながら全職員が要件を満たせるよう受講をすすめる。

## **【保育の留意事項】**

### **1. 保育指針に基づいた保育**

- 2つの大原則
- 子ども主体の保育
  - 環境を通して行う保育

そのためのポイントとして、子どもの生活を、10 の姿を意識して見守る

- ・健康な心と体
- ・自立心

- ・共同性
- ・道徳性、規範意識の芽生え
- ・社会生活との関わり
- ・思考力の芽生え
- ・自然への関心、生命尊重
- ・数量・図形・文字などへの関心
- ・言葉による伝え合い
- ・豊かな表現 ＊特に幼児クラスでは、この視点が最終的に要録に反映されるよう意識する。

## **2. 健康な心と体(とくに重要)**

- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の第1項である「健康な心と体」。これを、その他のすべての成長・発達の基礎であり、私たちの理念「共生と貢献」の実現のための最重点事項と捉え、毎日の保育での運動遊びの取り組みや健康・自立への意識付けを強化していく。体をうまく使えるようにすることで、五感を使った感性も育んでいく。

## **3. 誘い出す環境**

- ・子どもが好奇心を、意欲的に活動できる環境を、それぞれの発達の子に対して、日々生長・変化していく環境、子どもの気持ちに即応する意識を持って用意する。

## **4. けが・病気・事故の減少**

- ・子どもが目的をもって集中し、意欲的に活動できる環境を用意しながら、保健・衛生体制を整え、けが・病気・事故の減少を目指す。

## **5. 保育への参画**

- ・子どもの声を聴く保育を心がける。子ども自身が自らの考えを表明する機会を意識的に設け、子ども自身が計画して生活を作り上げる保育・遊び・環境を目指す。

## **6. 暴力・武器の廃絶と平和への意識づくり**

- ・言葉による伝え合い・人に対する優しさの大切さを繰り返し伝え、人と関わる力、協力する力を育みながら、暴力を根絶し、武器をなくし、常に意識して平和を大切にできるようにする。

## **7. 職員間の会話の質を高め、良好なチームをつくる**

- ・非常勤の先生もふくめて、いつでもなんでも話し合える風土をつくり、良好なチームをつくる。メリハリのある会話で、保育・子ども観を高めていく。

社会福祉法人省我会 新宿せいが子ども園  
令和6年度 事業計画

【重点項目】

(1) 園児数 定員 177名 (1号認定6名、2号認定81名、3号認定90名)

	定員	現員 (4月1日現在)
1号認定児 (3～5歳児クラス、幼稚園機能)	3歳児	2名
	4歳児	2名
	5歳児	2名
	計	6名
2号認定児 (3～5歳児クラス、保育園機能)	3歳児	30名
	4歳児	30名
	5歳児	30名
	計	90名
3号認定児 (0～2歳児クラス、保育園機能)	0歳児	21名
	1歳児	30名
	2歳児	30名
	計	81名
<b>総計</b>	<b>177名</b>	<b>163名 (144家庭)</b>

(2) 職員体制

園長1名 副園長1名 保育士33名(スーパーアドバイザー、STEM担当を含む)  
保育補助2名 看護師1名 管理栄養士1名 栄養士1名 調理師2名 児童心理  
士1名 環境マイスター1名 パート3名 (一時保育、調理、業務委託) 計46名  
内科医南長崎こみ山医院、歯科医平瀬歯科クリニック、産業医鈴木直子先生

(3) 改修修繕等工事、備品等購入、その他

- ・ 厨房換気扇取替工事 55万円 (税込)
- ・ 空調設備取替工事 1500万円 (税込)
- ・ 空調室外機消音装置工事 400万円 (税込)

以上

## 【児童処遇】

### (1) 通常保育

- 午前7時30分～午後6時30分（月曜日～土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始休業期間を除く）
- 定員 177名（内、1号認定児6名）
  - 【ちっち】（0～1歳児）21名（10月入所枠3名）・保育士8名
  - 【ぐんぐん】（1～2歳児）30名・保育士数6名・保育補助1名
  - 【にこにこ】（2～3歳児）30名・保育士数6名
  - 【わいらんすい】（3歳児～6歳児）96名（内、1号認定各クラス2名）・保育士数7名
- 職員配置 保育士33名（男13名女20名）保育補助1名（女1名）  
看護師1名（女1名）管理栄養士1名（女1名）栄養士1名（女1名）  
調理師2名（男1名女1名）用務1名（男1名）  
施設長1名（男1名）副施設長1名（男1名）児童心理士1名（女1名）パート2名（女2名）業務委託（男1名）  
計46名 男18名女28名

### (2) 一時保育（すくすく組）

- 午前8時30分～午後5時（月曜日～金曜日、土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始休業期間を除く）
- 一日あたりの受け入れ 生後6か月～3歳未満概ね6名3歳以上概ね3名  
緊急一時概ね1名計概ね10名 保育士2名＋パート保育補助1名
- 利用料 1日利用3,400円 午後1時まで利用1,700円

### (3) 延長保育

- 午後6時30分～午後8時30分（月曜日～土曜日、日曜日・祝祭日・年末年始休業期間を除く）
- 利用料 月極（1時間延長6,000円、2時間延長8,000円）  
一時（1時間延長400円、2時間延長600円）

### (4) 障がい児保育

- 個別配慮児 7名 巡回相談対象児 6名

#### (5) 健康管理

- 看護師配置 正規 1 名
- 嘱託医 小児科 南長崎こみ山医院 (毎月第 4 週火曜日乳児健診・毎年 5 月 11 月乳幼児健診)  
歯科 平瀬歯科クリニック (年 2 回 6 月・3 月検診)
- 健康管理 身体測定 (ちっち週 1 回ぐんぐん以降毎月)  
視力検査 (年間 1 回 1 月)  
尿検査 (年間 1 回 1 0 月)  
視診 (毎日) 検温 (ちっち毎日、ぐんぐん以降随時)

#### (6) 栄養管理

- 職員配置 管理栄養士 1 名 + 栄養士 1 名 + 調理師 2 名 + 調理補助 1 名
- 集団給食施設栄養報告 年 2 回 (5 月、1 1 月)
- 食材の厳選 不耕起栽培無農薬米や無農薬野菜、無添加肉類など安全な食材を選択し提供する。
- 献立 月 2 回の同一メニューにより子どもたちの嗜好を把握し、その後の献立検討に活かす。
- 食育 毎回の食事の際に各食材の栄養素について関心を持ち、クッキング保育や行事食を通してさまざまなことを学ぶ。
- アレルギー児対応 医師の診断に基づくアレルギー児対応食を提供する。但し、重篤なアレルギー児の場合、食事を持参してもらうこともある。

#### (7) 安全管理

- 交通安全指導 (随時、お散歩時)
- 地震・火災に伴う避難訓練、通報訓練、消火訓練 (月 1 回)
- 土砂災害に伴う避難訓練 (年 1 回)
- 保護者による引き渡し訓練 (年 1 回)
- 不審者対応訓練 (年 1 回)
- 園舎内外ヒヤリハットマップ作成
- 登降園時間お迎え者記入簿への保護者の記入及びファミリーサポートさん等の確認の徹底
- 安全管理係を中心とした安全管理チェックを随時行う
- 応急処置・心臓マッサージに関する講習の受講

#### (8) 用務他

- 職員室フリーの職員及び用務担当は園舎内外の営繕、美化、職員ローテーション表作成、各保育室へのヘルプ、接客、事務作業に従事する

#### 【職員処遇】

##### (1) 職務

- 今年度の職員担当表・職務分掌・園務分担表・行事分担表に従い、また就業規則他の規則集を遵守しながらも、互いの職務を理解し、柔軟な姿勢で職務遂行する。
- 「保育の全体計画」に基づいた保育を実施する。
- 「見守る保育の三省」を日々の自己評価の基準に据え、次の仕事を柔軟円滑に行うための振り返りとする。

##### (2)

- 健康診断 年1回 11月
- 細菌検査 調乳に携わる職員、調理に携わる職員、一時保育担当者  
看護師 月1回 年度初めの4月は全員

##### (3) 会議

- 職員会議 月1回
- 朝会 毎日（土曜日を除く）
- チーム会議 随時
- 月案・週日案会議 随時
- 行事会議及び行事反省会 随時
- 離乳食・献立会議 月1回
- 給食会議 月1回

##### (4) 研修

- 園外研修 研修計画によって研修に参加するが、計画以外に必要な研修については、園長に相談し、許可を得た上で参加する。
- 園内研修 必要に応じて研修を実施する。ほぼ2ヶ月に1回程度で実施する。

##### (5) 退職・福利厚生

- 福祉医療機構退職共済制度加入
- 職員厚生担当による親睦会（随時）

## 1. 施設管理

- (1) 園舎の修繕
- (2) 園庭及び外側の補修

## 2. その他

### (1) 苦情解決委員会

保護者の要望や意見に対して適切に対応するため同会を適宜開催する。

その際は苦情解決第三者委員に保護者の要望等について報告し相談する。

### (2) 第三者評価の受審

東京都福祉サービス第三者評価機関による第三者評価を3年に一度受審する。

本年度はその受審年度にあたらぬ。保護者及び職員への調査及び訪問評価を受け、評価結果を東京都福祉ナビゲーションにて公表する。

# 社会福祉法人省我会

## 千代田せいが保育園

### 令和6年度 事業の重点計画

#### 千代田せいが保育園

#### (1) 令和6年度の概要

- (ア) 定員51名に対して4月は47名でスタートする予定。
- (イ) 施設設備の変更など大きな手直しはなし。
- (ウ) 職員の在職数は昨年度よりも常勤保育士が2名多くなる。
- (エ) 保育所型認定こども園への移行を千代田区と交渉する。
- (オ) 令和11年度以降について千代田区との協議を開始する。

#### (2) 年度途中入園を進める

- (ア) 昨年度8人定員の2歳児クラスで途中退園があり年度末にも引越しなどで進級する園児が出たために定員10名の3歳児クラスが7名でのスタートとなる。
- (イ) 3歳児を中心に5月以降の途中入園を進める。
- (ウ) 千代田区社会福祉協議会のアキバ分室の「親子ひろば」で未就園児との接点を広げる。
- (エ) 令和7年度の認定こども園化を確実にして1号認定の募集を秋から開始したい。

#### (3) 見守る保育藤森メソッドの認定園としての充実を図る

- (ア) 新宿せいが子ども園の先行事例に学びながら都市型園の特徴を整理する
- (イ) 見守る保育藤森メソッドの認定モデルを目指し、ポイント制の研修計画を作り上げる。同メソッドの自己評価基準を積み上げながら作っていく。

#### (4) 見守る保育藤森メソッドの具体的実践の展開

- (ア) ゾーン保育の一環としての園庭に代わる戸外保育のデザイン
- (イ) 狭い空間におけるSTEM保育の展開事例をまとめる
- (ウ) 睡眠・午前の活動・食事・快便などのリズムを含めた生活習慣づくりの継続



- (エ) 睡眠アプリ「ねんねナビ」を試験的に導入して睡眠習慣づくりに役立てる
- (5) 施設見学と公開保育、研究協議の具体的成果物のアーカイブ化の研究
  
- (6) 財務関係(施設・設備、備品購入など)
  - (ア) 懸念される財務指標の健全化をはかる 園児の獲得と人件費の抑制
  - (イ) 災害対策用備品 15万円(機能強化推進費)の活用
  - (ウ) そのほか大きな購入など予定なし。修繕関係の費用が出てくると予想。
  
- (7) 園務分掌等における委嘱などは、以下の通り変更ありません
  - (ア) 会見責任者：園長倉掛秀人 出納担当者：事務長神宮司真人
  - (イ) 苦情解決制度第三者委員：高野真智子・伊藤賢  
(千代田区保健福祉オンブズパーソン施設調査委員)
- (8) 管理規定・就業規則の変更の予定はありません。
- (9) 令和5年度における指導検査はなく、改善項目はありません。令和6年度は指導検査及び第三者評価の受審を予定している。